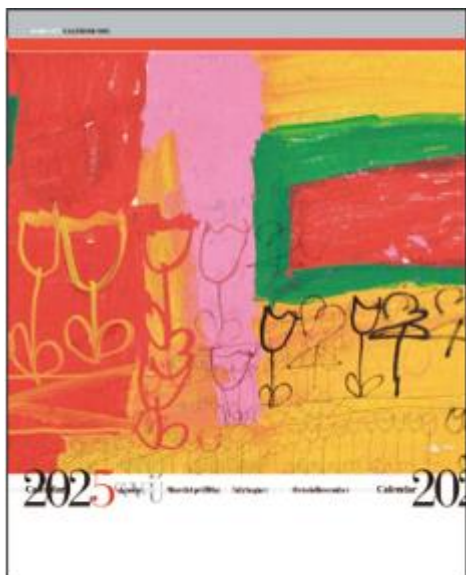


みぬま福祉会 KOBO-SYU × 埼玉県印刷工業組合 コラボプロジェクト

名入れ「アールブリュットカレンダー2025」

カレンダーの収益は、KOBO-SYU のアーティスト本人へ作品使用料として支払われます
使い終わったら用紙の再利用が出来る仕組みがプラスされました！



障がい者本人の収入に繋がるという、このプロジェクトの「価値」
に共感していただける皆様を募集します！！

※名入れ無しで作成する事も可能です



【プロジェクトの趣意】

このプロジェクトでは、印刷組合が中核となり国や地域の行政だけでは埋めることの出来ない課題を、微力ながら解決出来ないかと考えました。社会問題全ての課題を解決することは出来なくても、印刷の技術と知識そして紙の文化を通して、社会に寄与できる企画となっております。

サイズ 縦 45 cm×横 36.4cm ※絵柄が変更になる場合がございます。

13名のアーティストの作品を掲載 販売価格※別紙参照

【みぬま福祉会 KOBO-SYU】

社会福祉法人みぬま福祉会工房集『KOBO-SYU』は県内 11 箇所のアトリエを中心に 150 名程のアーティストが仕事として、さまざまなアートを生み出し、社会に発信、つなげるため活動拠点として 2002 年に開設されました。海外でも注目を集めるアーティストが多数所属しています。

【アールブリュットとは】

アール・ブリュット (Art Brut)

日本語では「(生)の芸術」と訳される。既存の文化にとらわれず独特の製作を行う障がい者や独学の作り手の作品の事。日本では近年アール・ブリュットの関心が高まっている。



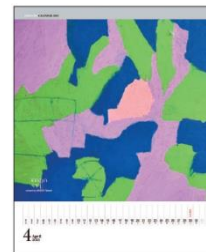
1月/齋藤裕一



2月/西川泰弘



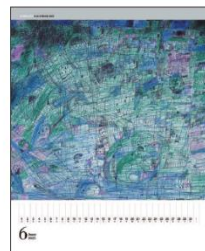
3月/武石トシ子



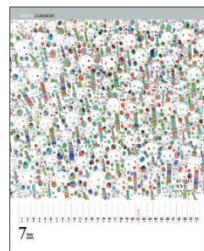
4月/前田貴



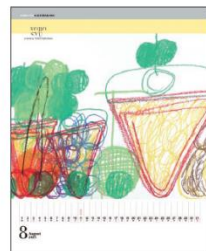
5月/尾崎翔悟



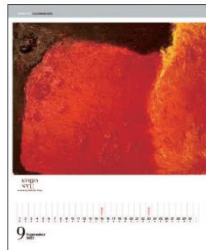
6月/箭内裕樹



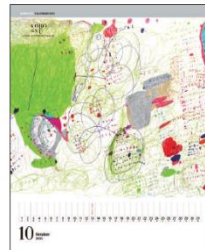
7月/田中悠紀



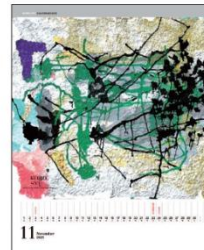
8月/横山明子



9月/大串憲嗣



10月/栗原和秀



11月/野口敏久



12月/白田直紀

お申込先:Google フォーム → <https://forms.gle/XLjFKffDEzBWSXbU6>

みぬま福祉会 KOBO-SYU × 埼玉県印刷工業組合 コラボプロジェクト

名入れ「アールブリュットカレンダー2025」お申込書

申込締切 10月末日

お申込みは Google フォーム、メール、FAX にてお申し込みください。

発送予定：11月上旬より順次発送（サイズ：縦 45cm×横 36.4cm）

送料無料※沖縄、離島・一部地域・単品購入の場合はお申込後に送料をお知らせします。



会社名	TEL
ご担当者	Mail

ご住所 ※配送先ご住所 ※配送先ご希望のご住所がある場合ご記入ください。

黒1色印刷（名入、会社名等） ※ご希望の所にお願い致します。

- 50部 合計¥ 55,000（税込・送料込） ¥ 1,100 税込単価
- 100部 合計¥ 99,000（税込・送料込） ¥ 990 税込単価
- 200部 合計¥ 176,000（税込・送料込） ¥ 880 税込単価
- 300部 合計¥ 231,000（税込・送料込） ¥ 770 税込単価

黒 + 特色1色印刷（名入、会社名等） ※ご希望の所にお願い致します。

- 50部 合計¥ 68,750（税込） ¥ 1,375 税込単価
- 100部 合計¥ 123,800（税込） ¥ 1,238 税込単価
- 200部 合計¥ 220,000（税込） ¥ 1,100 税込単価
- 300部 合計¥ 297,000（税込） ¥ 990 税込単価

備考 その他ご質問やご希望がございましたらご記入ください。 300部以上ご注文の際は備考コメントへご記入ください。

<お問合せ先> 埼玉県印刷工業組合 info@saipia.net

〒330-0802 さいたま市大宮区宮町4丁目36-4-204

TEL:048-642-0414 FAX:048-729-7161

Google フォーム <https://forms.gle/XLjFKffDEzBWSXbuU6>

お申込みは Google フォーム、メール、FAX にてお申し込みください。

障がい者アートとして世界的にも評価の高い、アート作品で企業用の名入れカレンダーを販売し、皆様にご活用いただければ、ご購入いただいた企業様も、カレンダーを受け取ったお客様も、アート作品を目にする機会が増え、身近に触れることが出来ます。そしてこのカレンダーの最大のポイントは、売り上げが直接アーティストに支払われる仕組みとなっている事です。また今回は、裏面に封筒やブックカバーの型紙の印刷を加え再利用することが出来る仕組みをプラスしました。カレンダーを見終わった後も、切り取って捨てるのではなく、折り紙のように折ってご活用いただき、素敵な作品達が皆様の暮らしをアートで彩り、うるおいを与える存在となって続いていく事を願っています。

埼玉県印刷工業組合 理事長 恵 勇人